

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習3

※この講習を受講する方はハ-304を受講することができません。

|       |              |     |          |
|-------|--------------|-----|----------|
| クラスCD | ハ-217        | 開講日 | 8月22日(火) |
| 対象職種  | 教諭、養護教諭、栄養教諭 | 定員  | 50名      |

|             |  |          |                            |
|-------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名       | 学校臨床心理学  | 講習の形態    | 講義                         |
| 担当講師名(ふりがな) | 金丸 隆太 (かねまる りゅうた)  | 所属       | 大学院教育学研究科                  |
| 主な受講対象者     | 全教員  | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校, いじめ, 発達障害, 児童虐待など, 学校園での今日的課題に対応するために, 臨床心理学ではどのように考え, 実践するかをチーム学校の視点から学ぶ。</li> <li>・臨床心理士や公認心理師の学校における役割を知り, 連携方法を学ぶ。</li> </ul> |          |                            |
| 到達目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場で応用できる臨床心理学の考え方を身につける。</li> </ul>  |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 特になし   |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

**【選択】新課題講習17**

※この講習を受講する方はハ-112、ハ-230を受講することができません。

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ハ-218 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 50名      |

|                 |   |          |                            |
|-----------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名           | 幼児教育の現状と課題  | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな)     | 神永 直美 (かみなが なおみ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 幼稚園教諭   | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容            | ・新幼稚園教育要領の基本的な方向性について、社会情勢の変化(子ども・子育て支援制度施行、幼児教育の重要性への認識の高まり、保護者支援の重要性、保幼小連携の必要性、茨城県の取組み)を踏まえ概説する。<br>・今後の幼児教育のあり方について、特に保幼小連携について検討する。 |          |                            |
| 到達目標            | (1) 幼児教育をめぐる社会情勢の変化を理解する。<br>(2) 今後の幼児教育の方向性について理解する。   |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 幼稚園教育要領(平成29年)を持参してください(インターネットでダウンロードもできます)。   |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新課題講習19

※この講習を受講する方はハ-109を受講することができません。

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ハ-219 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|                 |   |          |                            |
|-----------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名           | 特別支援教育における心理・生理アセスメントの活用  | 講習の形態    | 講義<br>(供覧含む)               |
| 担当講師名(ふりがな)     | 田原 敬 (たばる けい)<br>勝二 博亮 (しょうじ ひろあき)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 特別支援学校教諭  | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容            | 子どもの実態を客観的に把握することは支援計画を立てる上で重要であると思われる。本講義では、特別支援教育の中で、認知面や発達面を評価する際に用いられる心理計測法(田原担当)、そして感覚等のアセスメントに用いられる生理機能計測法(勝二担当)について紹介し、これらを活用した支援について紹介していく。 |          |                            |
| 到達目標            | 心理および生理機能計測方法とその活用の意義について理解できる。   |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 適宜プリントを配布する。  |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新課題講習24

※この講習を受講する方はロ-106、ロ-208、ロ-218、ロ-302、ハ-114、ハ-306を受講することができません。

|       |              |     |          |
|-------|--------------|-----|----------|
| クラスCD | ハ-220        | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭、養護教諭、栄養教諭 | 定員  | 50名      |

|             |   |          |                            |
|-------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名       | 道徳教育の今日的課題と実践   | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな) | 生越 達 (おごせ とおる)  | 所属       | 大学院教育学研究科                  |
| 主な受講対象者     | 全教員   | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容        | <p>道徳教育に焦点を当て、その今日的意義や実践の充実を図るための内容・方法等について検討する。今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育のもつ役割を理解するとともに、道徳教育の実践をより充実したものとするための実践上の課題、学校組織全体として道徳教育の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)道徳教育の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における人間形成の在り方と課題</li> <li>・道徳教育の今日的意義と課題</li> </ul> <p>(2)道徳教育の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の改訂と道徳教育</li> <li>・道徳教育の実践の充実と他の教育活動との関連</li> <li>・学校全体での運営・実施体制の充実</li> </ul> |          |                            |
| 到達目標        | <p>(1)子どもたちの規範意識や学ぶ意欲の低下、さまざまな問題行動の背景にある社会の問題を理解する。</p> <p>(2)現代社会を生きる子どもたちにどのような道徳教育を行っていくことが必要なのかを理解する。</p>   |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。  |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新展開講習(理科・農業コース)2

※この講習を受講する方はニ-102を受講することができません。

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-215 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|                 |  |          |                            |
|-----------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名           | 身近な化学:化学と環境と生活など   | 講習の形態    | 講義・実験                      |
| 担当講師名(ふりがな)     | 松川 覚 (まつかわ さとる)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 小・中・高教諭(理科・農業)   | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容            | <p>化学について様々な身近な題材をテーマに多彩な演示実験を交えながら学びます。さらに後半では実際に授業に使える実験を行います。</p> <p>1)水溶液について:粒子概念を通じた小中高の内容の関連について<br/>                 2)水環境について:重金属汚染、COD、富栄養化その仕組みとその対策<br/>                 3)花火の化学:炎色反応の仕組み、炎色反応のダイナミックな教材についての演示・紹介<br/>                 4)プラスチックの化学:プラスチックの最新事情、リサイクルについて学ぶ、リサイクルを体験する教材についても演示・紹介する。<br/>                 5)実験:◎電池分解◎塩化アンモニウムの結晶◎発泡スチロールの再発泡 ◎食塩のダイヤモンドダスト ◎指示薬を使った試験管で虹作り◎ペットボトルリサイクルの体験◎電気爆竹◎試験管のリレー など</p> |          |                            |
| 到達目標            | <p>1. 化学分野において取り扱う内容の小中高のつながりを理解することができる。<br/>                 2. 身近な化学のトピックスについて理解し、説明することが出来る<br/>                 3. 化学を身近に感じることの出来る実験を実施できる</p>  |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | <p>・白衣をご持参ください。<br/>                 ・テキストは配布します。</p>  |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新展開講習(音楽コース)2

※この講習を受講する方はニ-213、ニ-224を受講することができません。

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-216 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|             |   |          |                            |
|-------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名AM     | 音楽科の授業づくり   | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな) | 田中 健次 (たなか けんじ)   | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者     | 小・中・高教諭(音楽)   | 担当時間     | 3時間                        |
| 講習内容        | 新学習指導要領がもとめる「音楽科の学力」について再考し、そこから表現と鑑賞の各領域の活動において必要な教材選択の方法、そして音楽科の授業をどのように構成するかについて、講義・演習を行う。 |          |                            |
| 到達目標        | 新学習指導要領がもとめる「音楽科の学力」について理解し、そのための授業事例を考えることができるようになること。                                       |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 新学習指導要領の内容を確認しておいてください。   |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

|             |  |          |                            |
|-------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名PM     | 楽しくためになる歌唱指導   | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな) | 藤田 文子 (ふじた あやこ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者     | 小・中・高教諭(音楽)  | 担当時間     | 3時間                        |
| 講習内容        | 音楽科で扱う歌唱教材を中心に楽しくためになる教育方法について模索する。その際、教師自身の話し方、発声法も含めて考察し、望ましい授業展開を探る。発声教育の立場からも講習を進めることとする。その際できるだけ視聴覚教材も使用する。 |          |                            |
| 到達目標        | 新学習指導要領で示された歌唱法を参考に歌うことができる。   |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 新学習指導要領で示された歌唱に関する内容を確認しておいてください。  |          |                            |
| 成績評価の方法     | 実技考査(講習で学習した内容を基盤に任意の一曲を歌う。)   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)1

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-217 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|                 |  |          |                            |
|-----------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名AM         | 技術科の指導と評価  | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな)     | 大西 有 (おおにし たもつ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 小・中・高教諭(技術・工業・情報)  | 担当時間     | 1.5時間                      |
| 講習内容            | <p>新しい中学校学習指導要領「技術・家庭」(技術分野)で求められている指導と評価のあり方について、小学校、高等学校工業科、情報科との関連を踏まえて、以下の内容を概説する。</p> <p>1) 技術分野の目標の構造(旧学習指導要領との比較)と育成する資質・能力について</p> <p>2) 技術の見方・考え方</p> <p>3) 各内容の構成と求められる問題解決的な学習指導と評価</p> <p>○中学校技術の内容を中心に実施する。</p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p> |          |                            |
| 到達目標            | 1)~3)の内容について理解し説明することができる。   |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 適宜プリントを配付します。  |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

|                 |  |          |                            |
|-----------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名AM         | 材料と加工の技術(木材)   | 講習の形態    | 講義                         |
| 担当講師名(ふりがな)     | 臼坂 高司 (うすざか たかし)   | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 小・中・高教諭(技術・工業・情報)  | 担当時間     | 1.5時間                      |
| 講習内容            | <p>「技術科の指導と評価」の内容を踏まえ、木材を中心に以下の内容を概説する。</p> <p>1) 材料や加工の特性等の原理・法則と材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組み</p> <p>2) 材料と加工の技術の見方・考え方</p> <p>3) 学習活動(実習)例と配慮事項</p> <p>○中学校技術科の内容を中心に実施する。</p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p> |          |                            |
| 到達目標            | 1)~3)の内容について理解し説明することができる。   |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 適宜プリントを配付します。  |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)1

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-217 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|                 |   |          |                            |
|-----------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名PM         | 材料と加工の技術(金属・プラスチック)   | 講習の形態    | 講義                         |
| 担当講師名(ふりがな)     | 野崎 英明 (のざき ひであき)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 小・中・高教諭(技術・工業・情報)   | 担当時間     | 1.5時間                      |
| 講習内容            | <p>「技術科の指導と評価」の内容を踏まえ、<u>金属・プラスチックを中心に以下の内容を概説する。</u></p> <p>1) 材料や加工の特性等の原理・法則と材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組み</p> <p>2) 学習活動(実習)例と配慮事項</p> <p>3) 簡単な実験</p> <p>○<u>中学校技術科の内容を中心に実施する。</u></p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p> |          |                            |
| 到達目標            | 1)～3)の内容について理解し説明することができる。  |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 適宜プリントを配付します。   |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

|                 |  |          |                            |
|-----------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名PM         | 生物育成の技術  | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな)     | 大西 有 (おおにし たもつ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者         | 小・中・高教諭(技術・工業・情報)  | 担当時間     | 1.5時間                      |
| 講習内容            | <p>「技術科の指導と評価」の内容を踏まえ、以下の内容を概説する。</p> <p>1) 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組み</p> <p>2) 生物育成の技術の見方・考え方</p> <p>3) 学習活動(実習)例と配慮事項</p> <p>○<u>中学校技術科の内容を中心に実施する。</u></p> <p>○認定試験:講習内容を確認する。</p> |          |                            |
| 到達目標            | 1)～3)の内容について理解し説明することができる。   |          |                            |
| 受講者への<br>事前連絡事項 | 適宜プリントを配付します。  |          |                            |
| 成績評価の方法         | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |



【選択】新展開講習(家庭コース)1

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-218 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 教諭    | 定員  | 30名      |

|             |   |          |                            |
|-------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名       | 持続可能社会における衣生活分野の教育  | 講習の形態    | 講義と実験                      |
| 担当講師名(ふりがな) | 木村 美智子 (きむら みちこ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者     | 小・中・高教諭(家庭)   | 担当時間     | 6時間                        |
| 講習内容        | 新しい機能をもつ繊維の特徴と着心地との関係、洗剤・洗濯仕上げ剤の特性、繊維製品のリサイクルなどを取り上げ、持続可能社会における学習のあり方を考える。衣生活分野の教育をより深く理解するためには、実習・実験を導入することが有効である。本講習では、講義のほか被服材料の特性や洗剤性能に関連した実験を行う。 |          |                            |
| 到達目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服材料の特性がわかり、衣服材料と着心地との関係や手入れの仕方について理解できる。</li> <li>・環境に配慮した衣生活を理解するための学習方法を立案できる。</li> </ul>                  |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 新学習指導要領の内容を確認しておいてください。<br>午前は資料および映像資料を用いて講義、演習、グループワークを行います。午後は実験を行います。   |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

【選択】新展開講習(養護教諭コース)1

|       |       |     |          |
|-------|-------|-----|----------|
| クラスCD | ニ-219 | 開講日 | 8月22日(水) |
| 対象職種  | 養護教諭  | 定員  | 50名      |

|             |   |          |                            |
|-------------|---|----------|----------------------------|
| 講習科目名       | 生体リズムと心身の健康   | 講習の形態    | 講義                         |
| 担当講師名(ふりがな) | 青柳 直子 (あおやぎ なおこ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者     | 養護教諭  | 担当時間     | 3時間                        |
| 講習内容        | 子どもの健康で安全な生活を確保することは、教育活動において最も重要なことである。生体リズムの乱れにかかわる問題が増加している現状をふまえ、本講義では生体リズムに関する基本的事項、生体リズムと心身機能との関連や小児を取り巻く健康課題の現状について概説する。それらをふまえ、基本的健康習慣の確立に向けた教育的・環境的支援のあり方について多角的に検討する。 |          |                            |
| 到達目標        | 小児の生体リズムに関する現象や、現代社会において心身ともに健康に生活するために必要な視点について理解できる。  |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | これまでの取り組みについて、簡単な紹介ができるようにしておくことが望ましい。  |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験  | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |

|             |  |          |                            |
|-------------|--|----------|----------------------------|
| 講習科目名PM     | 小児の疾患と救急対応   | 講習の形態    | 講義・演習                      |
| 担当講師名(ふりがな) | 古池 雄治 (こいけ ゆうじ)  | 所属       | 教育学部                       |
| 主な受講対象者     | 養護教諭   | 担当時間     | 3時間                        |
| 講習内容        | 小児の疾患は急性疾患から慢性疾患まで多岐にわたり、学校における対応を理解し実践するには困難を伴う場合もある。そこで本講義では、学校で対応が必要と思われる小児の疾患についておよび救急対応について概説する。救急蘇生モデルを用いて心肺蘇生法を演習する。また、学校での対応に苦慮している事例について、質疑応答を行う。 |          |                            |
| 到達目標        | 学校現場で出会う可能性のある小児の疾患およびその対応について理解できる。   |          |                            |
| 受講者への事前連絡事項 | 日頃対応に苦慮している(または苦慮した)事例がある場合には、紹介ができるようにしておくことが望ましい。  |          |                            |
| 成績評価の方法     | 筆記試験   | 認定試験に関して | 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 |